

検証：ODAを問う メコン開発から見た 環境と人権への影響

日時：2010年1月23日(土) 13:30～16:00

場所：(財)人権教育啓発推進センター

主催：メコン・ウォッチ、国際環境NGO FoE Japan

協力：アユス仏教国際協力ネットワーク、アジア開発銀行福岡NGO フォーラム、「環境・持続社会」研究センター、カンボジア市民フォーラム、地球・人間環境フォーラム、日本環境ジャーナリストの会(JFEJ)、日本国際ボランティアセンター(JVC)、ODA改革ネットワーク

プログラム

- 開発ラッシュのメコン流域とODA
- 事例1：カンボジアにおける強制立ち退き問題と日本の支援の今後
- 事例2：ビルマ(ミャンマー)
～日本の援助が軍政ではなく国民を支えるために
< 質疑 >
< 映像上映 >
- 事例3：貧困削減？ 貧困の創出？
～ラオス・ナムトゥン2ダムに見る開発援助の問題
- 事例4：古典的な問い：誰にとっての援助？
タイの事例にみるODA
< 質疑 >
- まとめ：日本の援助に問われる透明性と審査・評価体制
< 質疑・全体議論 >

2010年1月23日
検証：ODAを問う
メコン開発から見た環境と人権への影響

開発ラッシュのメコン流域とODA

国際環境NGO FoE Japan メコン・ウォッチ
満田 夏花(みつた・かな)

3

ODAとは

「政府または政府の実施機関によって開発途上国または国際機関に供与されるもので、開発途上国の経済・社会の発展や福祉の向上に役立つために行う資金・技術提供による協力のこと」(外務省)

4

「ODAは国際社会におけるわが国の発言力を高める最も有効かつ重要な外交ツール」。

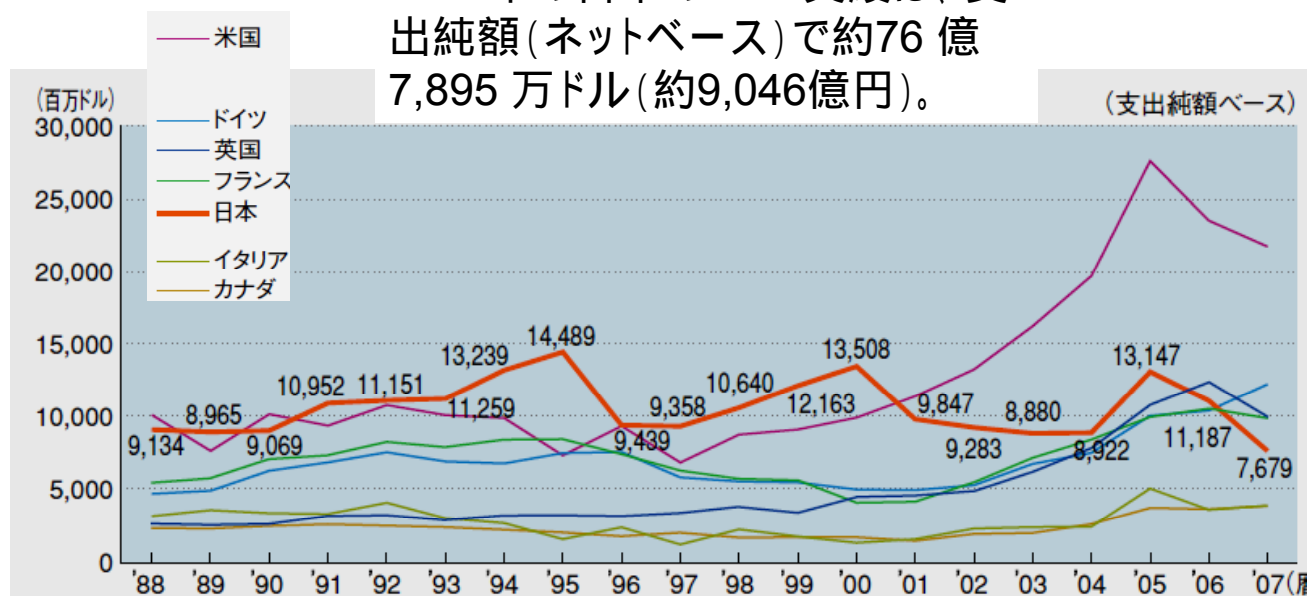
「日本が世界一の援助国であったのは昔の話。ODA予算はどんどん減り続け、今や世界第5位。このままでは、世界における日本の地位が下がり続ける」。

ホント？

5

主要国のODAの推移

2007年の日本のODA実績は、支出純額(ネットベース)で約76億7,895万ドル(約9,046億円)。



(出典) 2008年DACプレスリリース、2007年DAC議長報告

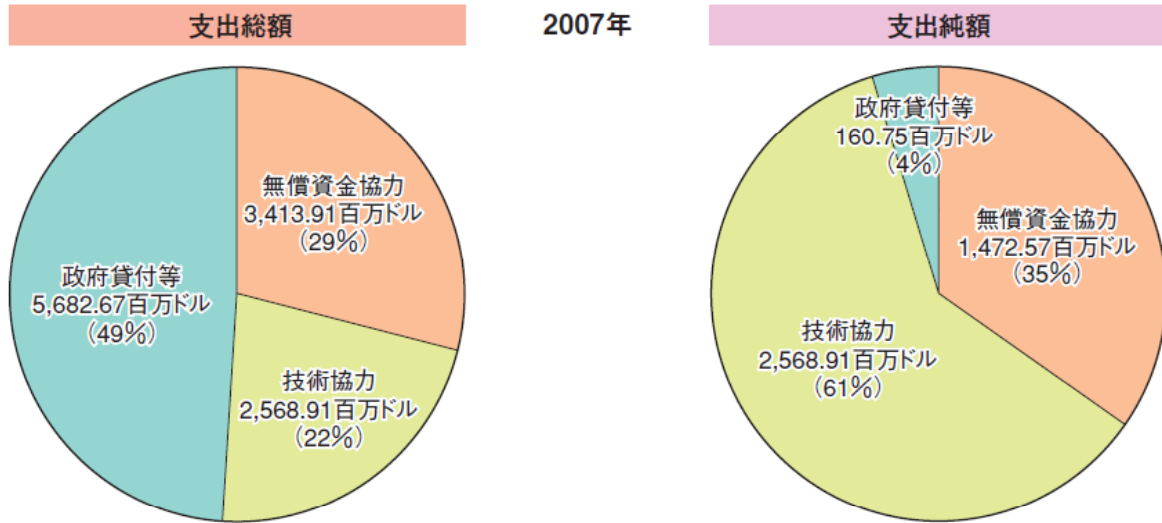
*1 東欧および卒業国向け援助を除く。

*2 1990年、1991年および1992年の米国の実績値は、軍事債務救済を除く。

*3 2007年については、日本以外は暫定値を使用。

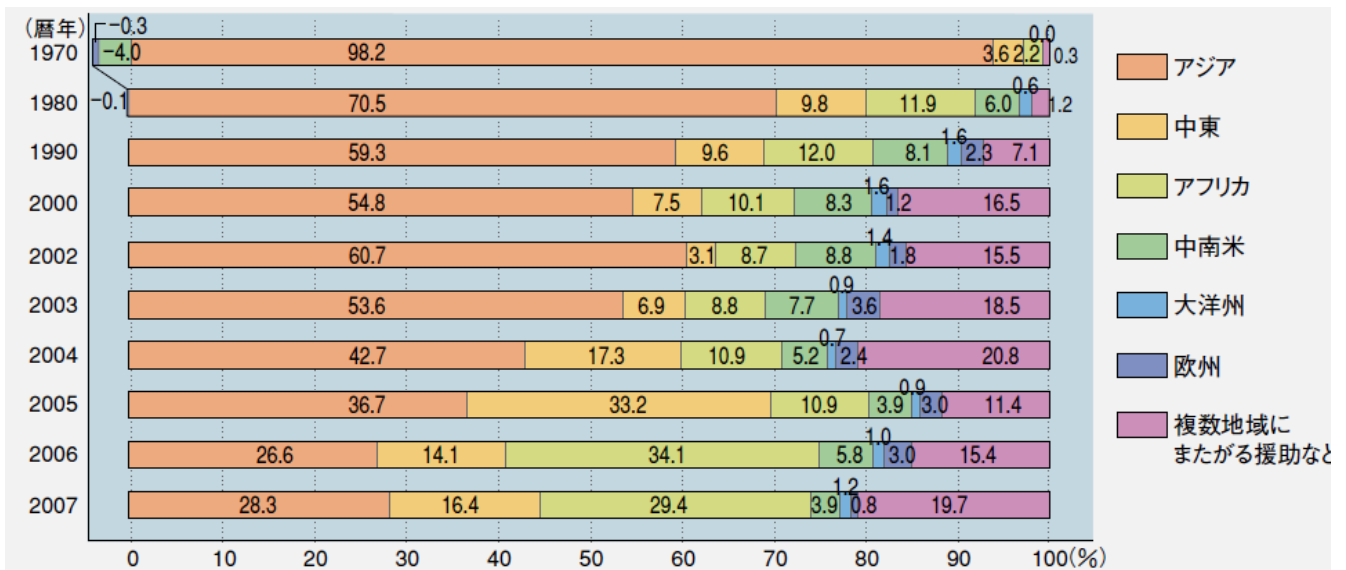
政府開発援助(ODA)白書 2008年版

ODAの形態別内訳



政府開発援助(ODA)白書 2008年版

二国間ODAの地域別内訳 (純額ベース)



*1 1990年から2006年までは欧州地域に対する実績には東欧向け援助を含む。
 *2 供与額を回収額が上回ると、マイナスとなる場合がある。
 *3 複数地域にまたがる援助等には、各地域にまたがる調査団の派遣や行政経費、開発啓発費等を含む。

政府開発援助(ODA)白書 2008年版

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

形態 国または地域名	政府開発援助(2007年)							合計
	贈与			政府貸付等				
	無償資金協力 うち国際機関を 通じた贈与	技術協力	計	貸付実行額	回収額	計		
アジア	568.13 (430.79)	56.34 (56.34)	868.60 (868.60)	1,436.73 (1299.39)	4,654.58 (4654.58)	4,458.18 (4331.62)	196.40 (322.96)	1,633.13 (1622.35)
東南アジア	195.52	17.92	367.04	562.56	2,683.93	2,621.31	62.62	625.18
カンボジア	62.35	2.44	39.84	102.19	15.37	4.01	11.36	113.56
ラオス	46.28		22.4	68.67	14.40	1.62	12.79	81.46
ミャンマー	11.68	3.80	18.84	30.52				30.52
タイ	2.17	0.60	47.74	49.91	87.45	614.71	-527.26	-477.35
ベトナム	18.48	0.08	73.85	92.33	672.66	124.94	547.71	640.04
アフリカ	1,547.67 (525.34)	183.13 (183.13)	237.39 (237.39)	1,785.06 (762.73)	188.22 (188.22)	272.75 (66.02)	-84.53 (122.19)	1,700.53 (884.92)

政府開発援助(ODA)白書 2008年版

日本が最大の援助供与国となっている国 (支出純額ベース)

2004年			2005年			2006年		
	金額	シェア		金額	シェア		金額	シェア
アンティグア・バーブーダ	1.27	n.a.	アンティグア・バーブーダ	5.42	78.3	アンティグア・バーブーダ	1.99	n.a.
ベトナム	615.33	51.9	インドネシア	1,223.13	54.6	ベトナム	562.73	43.1
ウズベキスタン	99.75	48.5	ベトナム	602.66	48.1	オマーン	1.50	n.a.
オマーン	5.31	n.a.	ウズベキスタン	54.44	44.8	ガンビア	10.99	43.8
カザフスタン	130.76	64.3	オマーン	3.72	n.a.	カンボジア	106.25	30.6
カンボジア	96.97	20.0	カザフスタン	66.17	44.9	キリバス	0.98	n.a.
グレナダ	4.92	46.9	ガンビア	4.38	29.0	サウジアラビア	4.61	41.3
スリランカ	179.53	53.2	カンボジア	100.62	29.0	サモア	16.81	43.9
スワジランド	4.86	67.0	キリバス	11.69	54.8	スリランカ	202.63	41.8
セントビンセント	5.98	82.3	コンゴ民主共和国	376.26	36.3	スワジランド	11.62	94.6
セントクリストファー・ネイビス	0.41	n.a.	サモア	12.52	41.8	セントビンセント	1.38	61.1
中国	964.69	60.9	スリランカ	312.91	36.5	セントクリストファー・ネイビス	4.27	n.a.
ドミニカ国	14.21	n.a.	スワジランド	25.91	n.a.	セントルシア	1.95	80.2
トリニダード・トバゴ	1.90	26.2	セントビンセント	3.20	55.7	中国	561.08	48.1
パキスタン	134.11	35.1	中国	1,064.27	62.9	ツバル	8.28	65.2
フィリピン	211.38	51.2	トリニダード・トバゴ	1.97	32.5	トリニダード・トバゴ	1.33	33.0
マレーシア	256.50	87.3	トンガ	11.24	45.4	パラグアイ	25.92	41.7
ミャンマー	26.81	32.9	ネパール	63.38	18.3	フィリピン	263.58	50.7
モルディブ	5.10	57.7	パラグアイ	27.47	50.0	ブータン	20.84	40.8
モンゴル	65.57	44.5	フィリピン	276.43	52.7	ペリウ	1.61	43.5
ラオス	71.73	40.7	ホンジュラス	103.47	22.7	ホンジュラス	138.01	35.9
			ミャンマー	25.49	32.8	マレーシア	201.70	87.7
			モーリシャス	16.55	76.3	ミャンマー	30.84	33.5
			モルディブ	24.23	61.1	モーリシャス	4.01	47.1
			モンゴル	56.48	42.7	モルディブ	4.81	30.1
			ラオス	54.06	34.0	モンゴル	46.92	37.1
						ラオス	64.05	34.1

政府開発援助(ODA)白書 2008年版

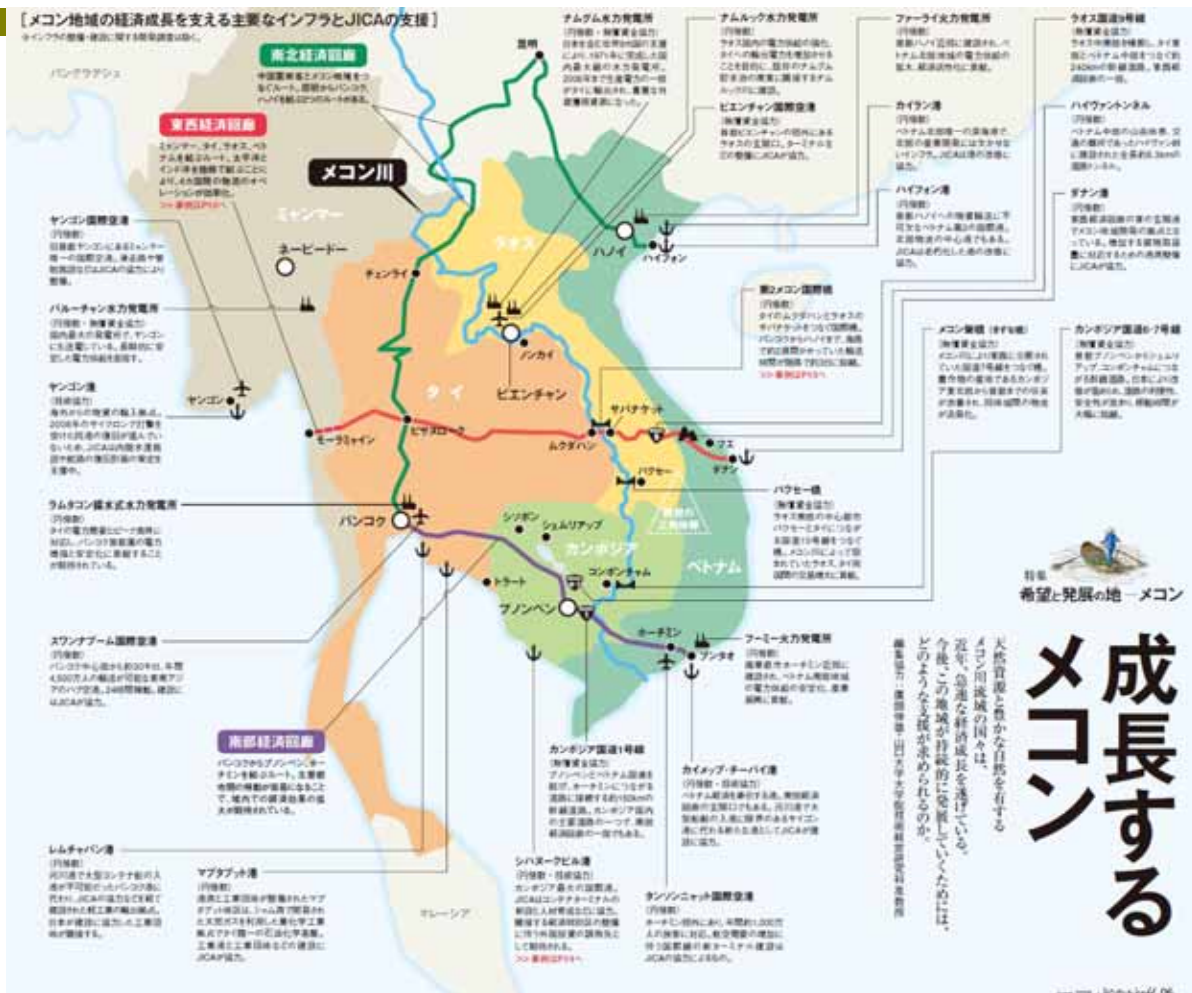
「日本が世界一の援助国であったのは昔の話。ODA予算はどんどん減り続け、今や世界第5位。このままでは、世界における日本の地位が下がり続ける」。

「ODAは国際社会におけるわが国の発言力を高める最も有効かつ重要な外交ツール」。

→日本の援助額はやはり大きな影響をもたらさうる。とりわけ、メコン諸国。

→「援助額」が、国際的な「発言力」に結びついているわけでもない？

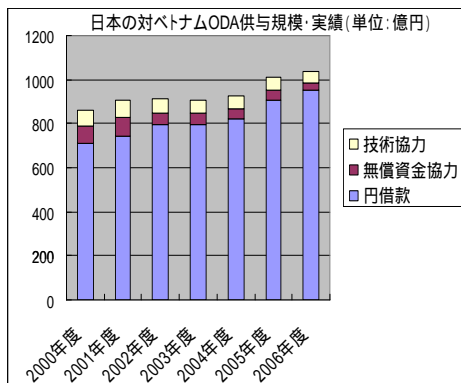
「額」の時代から、「質」の時代へ



成長する メコン

ベトナムでは

- 旺盛な成長。インフラ建設のニーズ(道路、上下水道、鉄道、電力)
 - 農村、山岳地域、少数民族などの生活の変貌
 - 強制移転
 - 都市への人口集中、都市公害と交通問題
 - 新たな貧困層の出現とその排除



ベトナムでは

- 1992-2006年に建設された、22カ所の重点ダム建設案件により、住民19万3000人以上が移転。そのほとんどが山岳少数民族
- 今後2010年までさらに20カ所以上の水力発電所が稼働を予定しており、約13万人が立ち退き
対越電力セクターに対する円借款ODAは、過去34件、4,000億円





その他の国々では？